

2026年度 北海学園大学・各学部 アドミッション・ポリシー(入学受入方針)

北海学園大学は、建学の精神、学位授与方針および教育課程編成方針に基づき、次の要件を満たした上で自ら行動して積極的に社会の発展に貢献しようとする人を、多様な選抜方法により受け入れます。

1. 本学の建学の精神と入学しようとする学部学科の教育理念や教育内容を理解し、共感する人
2. 高等学校までの教育課程において培われる知識・技能を十分に有し、課題解決に適用できる人
3. 主体的に学び、自ら考え、自らの可能性に挑戦しようとする人
4. 多様性を受容し、豊かな人間性を身に付けて他者と協働できるようになりたいと考えている人

経済学部 1 部

本学部の教育目標は、建学の精神に基づいて、急速に変化している国際的な経済環境・情報環境の中で、経済や社会の現状を的確に認識し、変化に対応できる幅広い知識と能力、柔軟な感性を養うこととしています。そのために、日本及び世界の現実や矛盾について、経済学を基礎とした社会科学的視点で理解し、望ましい社会のあり方について考えようとする人、市町村や北海道など、地域の抱えている諸問題を解明し、地域発展の方向を考えようとする人、企業・官公庁そのほかの組織において、直面する課題を具体的に解決する力を身につけたいと考えている人を求めています。

本学部では、大学における学修の基礎として、次のような能力・知識を求めます。それらは高等学校において身につけておくことが大切です。

- 経済的事象に興味を持ち、主体的に学ぶ意欲を持続できる能力。

- 様々な文献・資料を理解し、また自身の考えを文章で表現するための国語及び外国語能力。
- ディスカッションにおいて相手の発言を理解し、また自身の考えを論理的に伝えるための能力。
- 経済学の様々な理論、知識を習得するための数学あるいは社会科学の知識。

上記の能力・知識は次のような入学受入選抜によって評価されます。

- 一般選抜においては、国語・英語・数学・社会科学などに関する知識について、本学で作成した問題によってその解答能力から評価します。
- 学校推薦型選抜においては、書類審査、口頭試問などにより、評価します。
- 総合型選抜においては、書類審査、グループディスカッション、プレゼンテーションなどにより、総合的に評価します。

経済学部 2 部

本学部の教育目標は、建学の精神に基づいて、急速に変化している国際的な経済環境・情報環境の中で、経済や社会の現状を的確に認識し、変化に対応できる幅広い知識と能力、柔軟な感性を養うこととしています。そのために、日本及び世界の現実や矛盾について、経済学を基礎とした社会科学的視点で理解し、望ましい社会のあり方について考えようとする人、市町村や北海道など、地域の抱えている諸問題を解明し、地域発展の方向を考えようとする人、企業・官公庁そのほかの組織において、直面する課題を具体的に解決する力を身につけたいと考えている人を求めています。また、経済的事情などにより、昼間に仕事をしながらも勉強意欲旺盛な人、社会生活の途上にあってもさらなる自己啓発を目的とする人、第一線を退いてからの生涯学習・リカレント教育を希望する人も求めています。

本学部では、大学における学修の基礎として、次のような能力・知識を求めます。それらは高等学校において身につけておくことが大切です。

- 経済的事象に興味を持ち、主体的に学ぶ意欲を持続できる能力。
- 様々な文献・資料を理解し、また自身の考えを文章で表現するための国語及び外国語能力。
- ディスカッションにおいて相手の発言を理解し、また自身の考えを論理的に伝えるための能力。
- 経済学の様々な理論、知識を習得するための数学あるいは社会科学の知識。

上記の能力・知識は次のような入学受入選抜によって評価されます。

- 一般選抜においては、国語・英語・数学・社会科学などに関する知識について、本学で作成した問題によってその解答能力から評価します。
- 学校推薦型選抜および特別選抜（社会人）においては、書類審査、口頭試問などにより、総合的に評価します。
- 総合型選抜においては、書類審査、グループディスカッション、プレゼンテーションなどにより、総合的に評価します。

経営学部 1 部

経営学部は、「組織を中心とした経営学教育」、「実践志向の経営学教育」、「グローバルな視点に立つ経営学教育」、「情報分析を重視した経営学教育」、「人間行動を重視した経営学教育」を教育理念とし、この五つの教育理念のもと、経営分野の専門知識とそれを活かす実践力をあわせもち、組織や社会の発展に貢献しうるマネジメント能力に優れた人材を育成します。

このために、それぞれの学科で以下のような人を幅広く受け入れます。

経営学科

- 高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人。
- 総合的な知識に基づき、社会の出来事を理解し、客観的に分析できる人。
- 大学で修得した知識を実践の場で活用し、組織の創造性を高めたいと考えている人。
- 企業経営や商品の流通に関心を寄せ、組織のマネジメントやマーケティングのプロフェッショナルを志す人。

経営情報学科

- 高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人。
- 総合的な知識に基づき、社会の出来事を理解し、客観的に分析できる人。
- 大学で修得したいろいろな知識を融合・応用し、組織の革新に挑みたいと考えている人。
- 企業分析や企業における人間行動に関心を寄せ、情報、会計、心理のプロフェッショナルを志す人。

そのため経営学部では、一般選抜において、国語、外国語（英語）を選抜科目とし地理・歴史、政治・経済、数学を選抜選択科目とすることで、基礎的な日本語・外国語の読解力や表現力、ビジネスコミュニケーション能力のほか、論理的な思考力、物事を数学的に捉えて考える数理的素養、社会を理解する基礎的知識と分析能力を有する学生を求めています。

また、経営学部に入學するまでに、各教科（国語、数学、外国語（英語）、地理歴史、公民、理科、情報、保健体育、芸術、技術家庭）の内容を理解し、基礎的な知識を身に付けておくほか、特別活動・課外活動を通じて自主性・協調性、社会貢献に対する意識を養っておくことが望まれます。

経営学部 2 部

経営学部は、「組織を中心とした経営学教育」、「実践志向の経営学教育」、「グローバルな視点に立つ経営学教育」、「情報分析を重視した経営学教育」、「人間行動を重視した経営学教育」を教育理念とし、五つの教育理念のもと、経営分野の専門知識とそれを活かす実践力をあわせもち、組織や社会の発展に貢献するマネジメント能力に優れた人材を育成します。

このために、経営学部 2 部では、以下のような人を幅広く受入れます。

経営学科

- 高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人。
- 総合的な知識に基づき、社会の出来事を理解し、客観的に分析できる人。
- 企業経営や商品の流通に関心を寄せ、組織のマネジメントや

マーケティングのプロフェッショナルを志す人。

- 企業分析や企業における人間行動に関心を寄せ、情報、会計、心理のプロフェッショナルを志す人。
- 職場での問題意識を持ち、解決を図ろうとする行動力のある社会人。

そのため経営学部 2 部経営学科では、一般選抜において、国語を選抜科目とし英語、地理・歴史、政治・経済、数学を選抜選択科目とすることで、基礎的な日本語の読解力や表現力、ビジネスコミュニケーション能力のほか、論理的な思考力、物事を数学的に捉えて考える数理的素養、社会を理解する基礎的知識と分析能力を有する学生を求めています。

また、経営学部に入學するまでに、各教科（国語、数学、外国語（英語）、地理歴史、公民、理科、情報、保健体育、芸術、技術家庭）の内容を理解し、基礎的な知識を身に付けておくほか、特別活動・課外活動を通じて自主性・協調性、社会貢献に対する意識を養っておくことが望まれます。

法学部 1 部・2 部

人々の価値観は非常に多様であるため、社会における様々な場面において意見の対立が生じます。法学部では、建学の精神に則り、社会における様々な問題に対してより良い解決策を考案し、組織を先導していくリーダーとしての役割を担えるような人材の育成を目指しています。

以下で示されている各学科が求める人材については 1 部・2 部に共通していますが、2 部では、勉学意欲はあるが経済事情の厳しい人、昼間に仕事をしながらも勉学意欲旺盛な人、社会生活の途上にあってもさらなる自己の陶冶を目的とする人、第一線を退いてからの生涯学習・リカレント教育を希望する人、なども求めています。

高校では、基本とされる教科をしっかりと勉強することが極めて大切であります。国語と地理歴史・公民は、法的素養・政治学的素養を身につけるために特に重要であることから、一般選抜における 1 部・2 部共通の試験科目に設定されています。

なお、2 部では、一般選抜によらない特別選抜（課題小論文）、社会人のための口頭試問方式の特別選抜が設けられています。

法律学科

人々の意見の対立は究極的には裁判所で解決されますが、法律学科の学生は、裁判所で争われた様々な事例の検討を通じて、バランスのとれた問題解決能力を身につけていきます。そのためには法的素養を備える必要がありますが、この素養を備

えた人材を育成するために、以下のような人を求めます。

- 法に関して幅広い好奇心を有している人。
- 法に関する知識の修得に真摯に取り組める人。
- 正義・公平の理念に基づき、物事を論理的に考えることができる人。
- 他人の意見に関心をもち、それを理解しようと努めることができる人。
- 社会の諸問題につき、具体的な解決策を提示していく意欲がある人。

政治学科

政治学とは、望ましいルールとは何か、ルールはどのように決めるべきかなどを様々な角度から追究していく学問です。政治学科の学生は、様々な領域における政治的諸問題の本質がどこにあるのかを見極め、より多くの人が納得できる解決策を提案できる能力を身につけていきます。そのためには政治学的素養を備える必要がありますが、この素養を備えた人材を育成するために、以下のような人を求めます。

- 政治に関して幅広い好奇心を有している人。
- 政治に関する知識の修得に真摯に取り組める人。
- 正義・公平の理念に基づき、物事を論理的に考えることができる人。
- 他人の意見に関心をもち、それを理解しようと努めることができる人。
- 社会の諸問題につき、具体的な解決策を提示していく意欲がある人。

人文学部 1 部・2 部

学部の理念と教育研究上の目的

人文学部は、建学の精神をふまえ、近代ヨーロッパに起源を持つ人文主義を批判的に継承することで人間としてのあるべき姿を追求し、人間と自然、自己と他者が共生できる世界を目指す「新人文主義」を学部の理念として掲げ、1993 年 4 月に開設された学部です。本学部では、「文化を学ぶ、世界と繋がる」をモットーに、地域に根ざしつつグローバルな視野をもって、人間と人為の所産である文化を探究することを教育研究上の目的として掲げています。

日本文化学科

日本文化学科は、学部の理念と教育研究上の目的によって編成された教育課程を通し、教養を基礎として、主に日本語と日本文化に関する専門知識に裏づけられた洞察力・表現力・創造力を身につけ、多様性に開かれた社会を築くため、主体的に活動できる人間の育成を目指しています。そのため本学科では、高等学校卒業程度の学力を有し、特に次に掲げる意欲と学力等を有する人を国内外から広く求めています。

- 教養を身につけることで、自らを高めようとする意欲のある人
- 人文学、とくに日本語と日本文化を専門的に学ぶ主体性と基礎学力を有する人
- 論理的に考え、自分の意見をわかりやすく伝えられる人
- 将来、学科での学修成果を活かし、多様性に開かれた社会の実現に努力する意志のある人
- 2 部においては、これらに加え、働きながら学ぶ意欲のある人

英米文化学科

英米文化学科は、学部の理念と教育研究上の目的によって編成された教育課程を通し、教養を基礎として、主に英語と欧米文化に関する専門知識に裏づけられた洞察力・表現力・創造力を身につけ、多様性に開かれた社会を築くため、主体的に活動できる人間の育成を目指しています。そのため本学科では、高等学校卒業程度の学力を有し、特に次に掲げる意欲と学力等を有する人を国内外から広く求めています。

- 教養を身につけることで、自らを高めようとする意欲のある人
- 人文学、とくに英語と欧米文化を専門的に学ぶ主体性と基礎学力を有する人
- 論理的に考え、自分の意見をわかりやすく伝えられる人
- 将来、学科での学修成果を活かし、多様性に開かれた社会の実現に努力する意志のある人
- 2 部においては、これらに加え、働きながら学ぶ意欲のある人

入学者選抜の方法と資質・能力との関係

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜では、国語・外国語・地理歴史・公民等の科目で言語運用能力と大学で学ぶための基礎学力を判定します。学校推薦型選抜・特別選抜では、書類審査・事前提出小論文・口頭試問等で言語運用能力や論理的思考力、主体的に学ぶ意欲を判定します。総合型選抜では、書類審査・言語運用能力に関する総合問題・プレゼンテーション・口頭試問等で基礎学力と主体的に学ぶ意欲を判定します。

工学部

工学部では、建学の精神である自主独立の「開拓者精神」に基づいて、社会に存在する諸課題の解決に工学的な視点から貢献できる人材の育成に主眼を置いています。しっかりとした基礎学力、数理的な思考力やコミュニケーション力などを十分に有し、新しい知識を学ぶことで広範囲な「ものづくり」や「サービスづくり」を通じ、持続可能で住みよい社会の実現に関心がある人を求めています。学科特性に応じて多様性に富んだ入学者選抜を行っています。

社会環境工学科

社会環境工学科では、社会環境工学を学ぶことに対して強い意欲を持つ次のような人を求めています。

【両コース共通】

- 大学での教育に必要な数学、理科、英語その他の十分な基礎学力を備えている人。
- 常に向上心を持ち、コミュニケーション能力や協調性及びリーダーシップを養う努力をする人。
- 自然現象や社会システムに関心を持ち、環境の保全・創造や、環境と調和した社会の構築に取り組む意欲を有する人。

【社会環境コース】

- 市民の生活を支える社会・都市基盤の整備や維持管理に興味を持ち、これらの分野で社会貢献を目指す人。

【環境情報コース】

- 市民の生活を支える社会や都市の仕組みに関心があり、市民の安全、福祉などの政策決定や情報化に興味を持ち、これらの分野で社会貢献を目指す人。

建築学科

建築学を学ぶことに対して強い意欲を持つ次のような人を求めています。

- 機能的で美しい建築や住みよい都市をデザインしたいと思っている人。
- 建築や都市の快適性を環境面から追求したいと思っている人。
- 災害に強く、安全かつ耐久性のある建築や都市を造りたいと思っている人。

そのため選抜科目も多様な科目の中から選択できるように

なっており、文系・理系を問わず受験できます。重要なことは、しっかりとした基礎学力と学ぶ意欲を身につけておくことです。また、様々な学習や活動をととして、コミュニケーション能力や協調性、主体性や表現力を身につけた人を求めています。

電子情報工学科

電子情報工学科は、現代社会に欠かせないハードウェアとソフトウェアを活用して社会に貢献する人材の育成を目的としており、学生には論理的な思考方法を身につけた上で、電子工学と情報工学の両面にわたる知識の修得を求めます。そのため、物事の数理的な取扱いに強い興味と関心を示すとともに、世の中のさまざまな考え方を理解し共有しようとする人、さらに、電子・情報・通信などの分野に強い興味と関心を持ち、それらを通して問題を認識・発見し、論理的・創造的に解決できる力を身につけようとする人を求めています。上述の学習目標を着実に達成するために、高校においては、基本とされる教科をしっかり勉強することが大切です。特に数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C、物理基礎・物理、情報Ⅰ、国語（現代文）、英語に力を入れて学習することが望まれます。

生命工学科

生命工学科では、生命科学と情報工学を学ぶことに対して強い意欲を持ち、向上心と好奇心に満ちた次のような人を求めています。

- 動物や植物、人間社会などに関心があり、実験や観察、「ものづくり」が好きな人。
- 人間工学や情報技術あるいは分子生物学やバイオテクノロジーに関心があり、物事を論理的に考えることのできる人。
- 生命や脳のしくみ、人間の行動コミュニケーションなどに興味を持ち、分野横断的に新しい課題に意欲的に取り組むことのできる人。

このため入学者選抜では、英語と数学に加え、理科を選抜教科に設定しています。高校では、これらの教科を中心にしっかりと基礎学力をつけ、自分の頭で考える習慣を身につけておきましょう。また、さまざまな活動を通して、豊かな「人間力」とみずみずしい「好奇心」を養っておいてください。